

国際歴史学会会長、ベルリン比較ヨーロッパ史研究所所長、ベルリン社会科学研究所所長
を歴任した世界的な歴史学者が、仕事と家族の関心の長期的な変化について語る

ユルゲン・コッカ氏講演会

Prof. Dr. Dr.h.c.mult. Jürgen Kocka



仕事と家族の関係は どう変わったのか

ドイツの歴史から考える

参加費
無料
通訳あり

14:00—15:00 講演

『仕事と家族の関係はどう変わったか
—ドイツの歴史から考える』

講師：ユルゲン・コッカ氏

(ベルリン・フンボルト大学
国際労働史研究所)

日独通訳：相澤啓一 筑波大学教授

15:00—16:00 コメント・質疑応答

コメンテーター：姫岡とし子氏

(前 東京大学文学部教授、
前 日本ドイツ学会理事長)

日時

2018年10月6日(土)

14:00—16:00

定員 先着70名様

会場 筑波大学東京キャンパス 119室
(丸の内線茗荷谷駅(出口1)より徒歩5分)

主催：日本学術振興会科学研究費プロジェクト(研究代表者：田中洋子)

後援：日本ドイツ学会、筑波大学ボン・オフィス、筑波大学人文社会国際比較研究機構

協力：フリードリヒ・エーベルト財団

連絡先 tanaka.yoko.ft@u.tsukuba.ac.jp

本講演会は筑波大学研究基盤支援プログラム及びJSPS 科研費
26301030 の助成を受けた